

静岡県

地域医療支援センター情報交換会（5月11日開催）用アンケート

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

- ・人口当たり医師数が全国平均を大きく下回るとともに、偏在が生じている。
- ・静岡県人口約380万に対して、医科大学が1校であり、医師養成数は全国平均の2分の1以下と、他の都道府県に比して著しく低い。
- ・全国に先駆けて、「ふじのくに地域医療支援センター」を設置し、医師確保対策を推進（別添パンフレット）
- ・医学修学研修資金（奨学金）をH21～H25の5年間で500人貸与を計画

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

- ・即戦力の医師の確保は現状、非常に困難であるため、本県では、全国から主には臨床研修医及び専門研修医を集め、研修の実施及び修了後の定着を推進することとしている。
- ・1つの病院では専門医資格取得のための研修が困難であるため、複数の病院が連携して提供する「専門医研修ネットワークプログラム」を作成して、募集を開始した。
- ・併せて、研修環境の整備を補助金により支援している。
- ・あっせん業の資格をH23.8に取得し、職業紹介も開始した。

【設問3】

設問2で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。（あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など）

- ・「専門医研修ネットワークプログラム」を50プログラム作成（別添パンフレット）
- ・H24.4からのプログラム参加者は10人、年度内に新たに参加する研修医が増加する見込。
- ・あっせんについては、実績なし。なお、県外医師より相談があり、1人県中部地域の病院への勤務を4月から開始した。（あっせんとなる求人及び求職登録までは至っていない。）
- ・医学修学研修資金貸与者の配置調整を行い、H24.4から8人の医師が県内病院で勤務を開始した。

【設問4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

- ・人口当たり医師数の少ない本県にあつては、医師の余力が少なくドクターバンク制度の実現性は低い。（医師数の多い地域から不足地域への派遣は、地理的要件等で医師の負担が嵩む）
- ・指導医養成について、学会毎に指導医制度の有無や認定要件が異なるため、一律の支援制度の作成が困難。また、係る経費については、学会申請経費が中心のようで、低額補助になりかねない。
- ・専任医師であっても、全ての診療科の状況に精通しているわけではないので、適任者（他の専門医資格に精通し、多くの病院と調整ができる者）の選定は難しい。

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

- ・ 女性医師支援事業の実施・効果検証及び広報活動
- ・ 研修医の研修状況を管理するシステムの導入の検討（研修進捗度管理、修学資金貸与状況管理など）
- ・ 医学修学研修資金貸与者の勤務調整の充実（研修プログラムの充実、面接の充実など）

～以上～

ふじのくに地域医療支援センター

1 要 旨

本県の医師確保対策を一元的かつ専門的に推進するため「ふじのくに地域医療支援センター」において、魅力ある医療環境づくりを進めている。

2 概 要

- (1) 設 置 日 平成22年10月18日
 (2) 設 置 場 所 健康福祉部医療健康局内（事務局：地域医療課）
 (3) 組 織 形 態 等 本部（理事会、運営会議）、東中西の保健所に支部を設置
 (4) 理 事 会

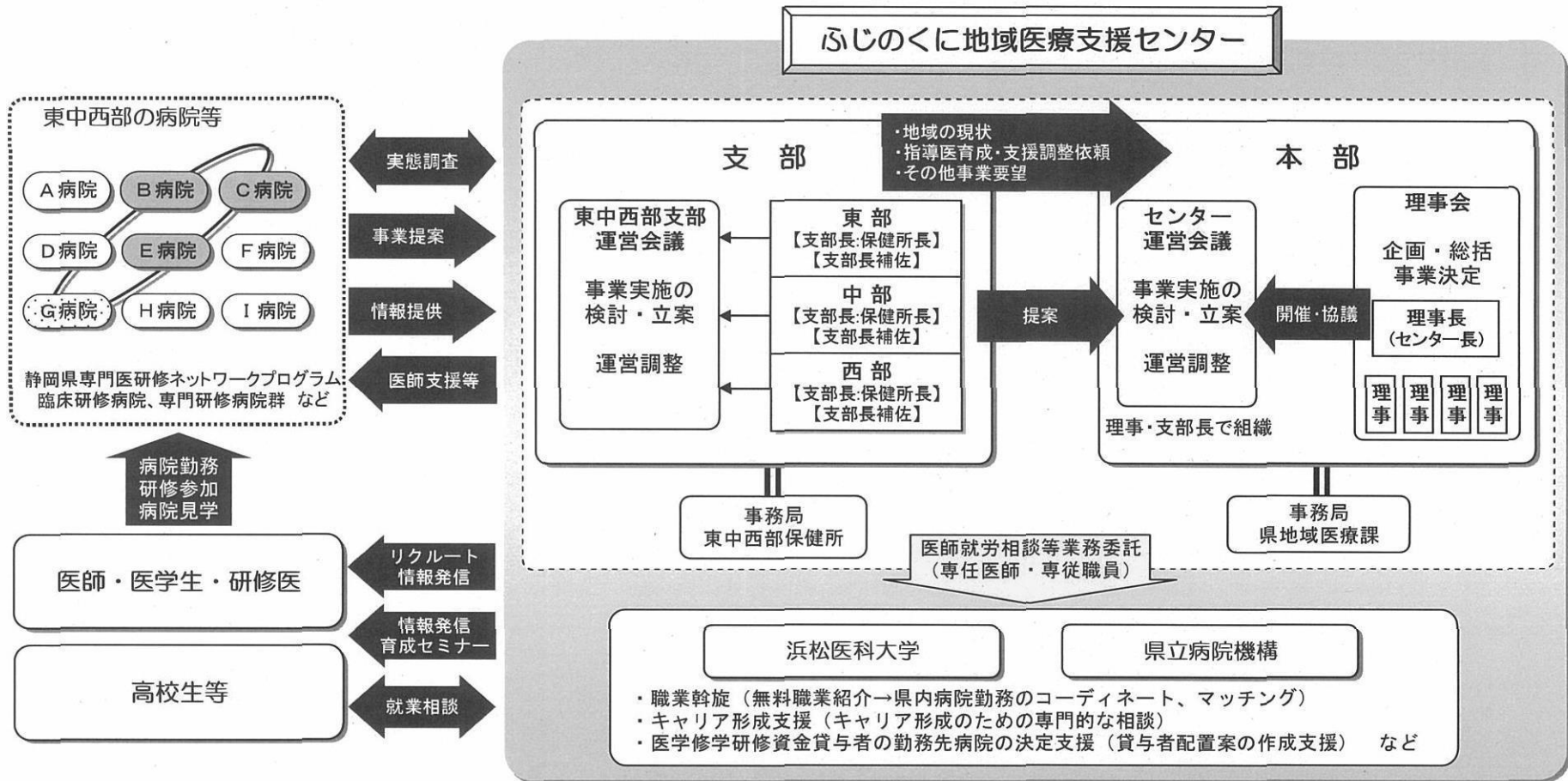
区 分	氏 名	備 考
理 事 長	寺 尾 俊 彦	前浜松医科大学学長
副 理 事 長	鶴 田 憲 一	静岡県理事（医療衛生担当）
理 事	水 上 泰 延	県病院協会副会長（JA厚生連遠州病院長）H23.4.20委嘱
理 事	大 山 邦 雄	全国自治体病院協議会静岡県支部監事（沼津市立病院長）
理 事	神 原 啓 文	県立病院機構理事長（県立総合病院長）
理 事	篠 原 彰	県医療対策協議会会長（県医師会副会長）

（委嘱期間 平成22年10月18日～平成25年3月31日）

○ふじのくに地域医療支援センターの機能・主要な業務

機能区分	主 要 な 業 務	
研 修 機 能	医療の質の向上及び医師を確保するための研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的な専門医研修プログラムの構築 ・病院群のローテーションによる研修システムの構築 ・指導医の育成・確保支援 ・女性医師の復職支援 など
リクルート機能	医師及び医学生の県内就職を促進するための情報発信、リクルート活動	<ul style="list-style-type: none"> ・県外医大にいる本県出身者の確保等 ・県内高等学校との連携（医学科進学等の促進等） ・「レジナビ」、「e-レジデント」等の医療情報提供サイトへの情報発信の拡充 など
医学修学研修資金貸与者配置機能	医学修学研修資金貸与者の配置方針の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・配置方針の検討（H19～H23.10：354人貸与） ・病院の意見及び地域の状況を踏まえた配置案の作成 など
調 査 機 能	県内の各地域及び各病院等の医療に関する調査及び研究	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域・病院の医師数等実態把握（常勤医師数・研修医数・専門医数・指導医数等） など

ふじのくに地域医療支援センター イメージ図



センターの業務

- 1 医療の質の向上及び医師を確保するための研修の充実 (専門医研修ネットワークプログラム等)
- 2 医師及び医学生の県内就職を促進するための情報発信、リクルート活動 (合同説明会、ホームページ等)
- 3 医学修学研修資金貸与者の配置方針の検討
- 4 県内の各地域及び各病院等の医療に関する調査及び研究 (医師数等調査等)